

野田村 復興交付金事業計画 復興交付金事業等

基金設置の時期: 平成24年3月8日 設置の有無: 有

令和元年12月時点

Table with columns: No., 事業番号 (注1), 事業名 (注2), 地区名 施設名, 交付団体, 事業実施主体, 直接/間接, 総交付対象事業費 (注3), うち、特定市町村又は特定都道府県道以外の方が負担する額, うち、特定市町村又は特定都道府県道以外の方が負担する額を減じた額, 各年度の交付対象事業費 (注4) (平成23年度 to 平成32年度), 事業間流用額, 全体事業費 (注5), うち、特定市町村又は特定都道府県道以外の方が負担する額, うち、特定市町村又は特定都道府県道以外の方が負担する額を減じた額, 全体事業期間 (注6), 備考 (注7).

野田村

復興交付金事業計画 復興交付金事業等

基金設置の時期: 平成24年3月8日 設置の有無: 有

令和元年12月時点

Table with columns: No., 事業番号(注1), 事業名(注2), 地区名施設名, 交付団体, 事業実施主体, 直接/間接, 総交付対象事業年度, うち、特定市町村又は特定都道府県以外の者が負担する額, うち、特定市町村又は特定都道府県以外の者が負担する額を減じた額, 平成23年度, 平成24年度, 平成25年度, 平成26年度, 平成27年度, 平成28年度, 平成29年度, 平成30年度, 平成31年度, 平成32年度, 事業間流用額, 全体事業費(注5), うち、特定市町村又は特定都道府県以外の者が負担する額, うち、特定市町村又は特定都道府県以外の者が負担する額を減じた額, 全体事業期間(注6), 備考(注7). Rows include projects like '復興基礎施設GIS整備事業', '農用地災害復旧関連区画整理事業', 'まちづくり連携道路整備事業', etc.

野田村 復興交付金事業計画 復興交付金事業等

基金設置の時期: 平成24年3月8日 設置の有無: 有

令和元年12月時点

Table with columns: No., 事業番号(注1), 事業名(注2), 地区名施設名, 交付団体, 事業実施主体, 直接/間接, 総交付対象事業費(注3), 各年度の交付対象事業費(注4), 事業期間額, 全体事業費(注5), 全体事業期間(注6), 備考(注7). Rows include summary and detailed data for various projects like 'うち市町村交付分' and 'うち県交付分'.

Summary row with columns: 都道県名 (岩手県), 市町村名 (野田村), 担当部署名 (総務課財政班), 担当者氏名 (中川 大志), メールアドレス (h.nakagawa@vill.noda.lg.jp).

(注1)「事業番号」は、基幹事業については、「(制度要綱別表の番号)-(同一事業計画中の同種の事業の通し番号)」、効果促進事業等については、「◆(最も関連する基幹事業の事業番号)-(最も関連する基幹事業ごとの通し番号)」となるよう記載する。
(注2)「事業名」は実施する事業の内容がわかるように任意の名称を記載する。
(注3)「総交付対象事業費」、「各年度の交付対象事業費」、「事業間流用額」欄の上段()書きは、前回までに配分された額等を記載し、中段には今回申請する額を記載する。なお、下段<>書きについては、自動計算される。
(注4)「各年度の交付対象事業費」欄の中段の計数は、様式1-4の「交付対象事業費(b)」欄と必ず一致させること。
(注5)「全体事業費」は、「全体事業期間」を通じての全ての事業費を記載する。なお、事業間流用を行った場合は必ず流用後の全体事業費を記載する。
(注6)「全体事業期間」は、平成32年度までの事業期間を記載する。
(注7)年度間調整又は事業間流用を行った場合には、「事業間流用額」欄には流用額を、「備考」欄には年度間調整又は事業間流用を行った旨、その時期及び額を記載する。なお事業間流用を行う場合には、流用する(流用される)事業名も合わせて記載し、必ず様式3との整合を図ること。
(注8)担当者氏名等は県及び市町村の担当者を並べて記載する。

(様式 1-3)

野田村復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

令和元年 12 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	19	事業名	まちづくり連携道路整備事業(一)安家玉川線 下安家	事業番号	D-1-6
交付団体		県	事業実施主体 (直接/間接)	県 (直接)	
総交付対象事業費		2,237,744 (千円)	全体事業費	2,226,345 (千円)	
事業概要					
<p>東日本大震災津波により壊滅的な被害を受けた下安家地区の市街地内の幹線道路となる (一) 安家玉川線 (下安家) の道路整備を行う。</p> <p>(一) 安家玉川線 (下安家) は、下安家の中心部を通過する主要道路であり、沿線には鮭の孵化場などの水産業施設が立地し、日常生活に欠かせない道路である。</p> <p>今回の津波により、多数の家屋等が流失、水産業施設が被災するなどの被害が生じたことから、多重防災型のまちづくりと一体となった災害に強い延長 1.4 km の 2 車線道路を整備するものである。</p> <p>平成 25 年度から用地買収、工事に着手しており、平成 28 年度も引き続き用地買収・工事の進捗を図り、平成 29 年度の完了に向けて関係機関と調整し整備を進める予定である。</p> <p>【岩手県東日本大震災津波復興計画 復興実施計画】P16</p> <p>・多重防災型まちづくり推進事業 (まちづくり連携道路整備事業)</p> <p>道路機能の向上を図るため、津波により浸水した道路について、市町村の復興まちづくりと一体となった整備を実施</p> <p>(事業間流用による経費の変更) (平成 29 年 1 月 19 日)</p> <p>台風 10 号被害による手戻工事費の追加に伴い、工事費が増額したため、◆D-1-6-1 まちづくり連携道路調査事業 (道路) より 21,240 千円 (国費: H23 補正予算 17,523 千円)、D-1-7 まちづくり連携道路整備事業 ((一) 野田港線 野田) より 30,000 千円 (国費: H23 補正予算 24,750 千円)、D-4-1 災害復興公営住宅等整備事業 (野田地区) より 3,982 千円 (国費: H23 補正予算 3,285 千円)、◆D-4-1-1 災害復興公営住宅駐車場整備事業より 2,377 千円 (国費: H23 補正予算 1,961 千円)、◆D-4-1-2 県営住宅システム改修事業より 970 千円 (国費: H23 補正予算 800 千円)、D-5-1 災害公営住宅家賃低廉化事業より 3,197 千円 (国費: H23 補正予算 2,638 千円)、D-6-1 東日本大震災特別家賃低減事業より 490 千円 (国費: H23 補正予算 405 千円) を流用。</p> <p>これにより、交付対象事業費は 2,237,744 千円 (国費: 1,846,138 千円) から 2,300,000 千円 (国費: 1,897,500 千円) に増額。</p> <p>(事業間流用による経費の変更) (平成 31 年 1 月 11 日)</p> <p>事業費精査により工事費等の額が減額したため、大船渡市 D-1-8 まちづくり連携道路整備事業 (末崎～基石) へ 55,182 千円 (国費: H28 繰越予算 45,525 千円) を流用。これにより、交付対象事業費は 2,300,000 千円 (国費: 1,897,500 千円) から 2,244,818 千円 (国費: 1,851,975 千円) に減額。</p> <p>(事業間流用による経費の変更) (令和元年 10 月 7 日)</p> <p>事業完了により事業費が減額したため、陸前高田市 D-1-5 まちづくり連携道路整備事業 (久保～泊) へ 18,473 千円 (国費: H23 繰越予算 15,240 千円) を流用。これにより、交付対象事業費は 2,244,818 千円 (国費: 1,851,975 千円) から 2,226,345 千円 (国費 1,836,735 千円) に減額。</p> <p>※当該事業を復興ビジョン、復興計画、復興プラン等に位置付けている場合は、該当箇所及び概要も記載してください</p>					

当面の事業概要	
<平成 28 年度>用地補償、工事等 <平成 29 年度>工事等	
東日本大震災の被害との関係	
東日本大震災津波により被害を受けた下安家地区において、野田村の復興まちづくりと一体となった道路整備を行うことにより、安全で安心な防災都市・地域づくりを推進する。 ※区域の被害状況も記載して下さい。	
関連する災害復旧事業の概要	
なし。	
※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。	
関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	

(様式 1-3)

野田村復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

令和元年 12 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	32	事業名	まちづくり連携道路整備事業 (主) 野田山形線 野田	事業番号	D-1-8
交付団体		県	事業実施主体 (直接/間接)	県 (直接)	
総交付対象事業費		2,250,000 (千円)	全体事業費	2,363,082 (千円)	
事業概要					
<p>東日本大震災津波により壊滅的な被害を受けた野田地区の市街地内の幹線道路となる (主) 野田山形線 (野田) の道路整備を行う。</p> <p>(主) 野田山形線 (野田) は、野田村の中心部を通過する主要道路であり、沿線には役場等の主要施設が立地し、日常生活に欠かせない道路である。</p> <p>今回の津波により、野田地区の多数の家屋等が流失するなどの被害が生じたことから、当地区の高台移転と一体となった延長 1.5 km、幅 12.5m の 2 車線道路を整備し、安全で安心な地域づくりを推進するものである。</p> <p>平成 24 年度から用地買収、工事に着手しており、平成 28 年度も引き続き用地買収・工事の進捗を図り、平成 29 年度の完了に向けて関係機関と調整し整備を進める予定である。</p> <p>【岩手県東日本大震災津波復興計画 復興実施計画】P16</p> <p>・多重防災型まちづくり推進事業 (まちづくり連携道路整備事業)</p> <p>道路機能の向上を図るため、津波により浸水した道路について、市町村の復興まちづくりと一体となった整備を実施</p> <p>(事業間流用による経費の変更) (平成 29 年 1 月 19 日)</p> <p>詳細調査に基づく補償費の増額のため、D-4-1 災害復興公営住宅等整備事業 (野田地区) より 202,000 千円 (国費: H23 補正予算 166,650 千円) を流用。これにより、交付対象事業費は 2,250,000 千円 (国費: 1,856,250 千円) から 2,452,000 千円 (国費: 2,022,900 千円) に増額。</p> <p>(事業間流用による経費の変更) (平成 31 年 1 月 11 日)</p> <p>事業費精査により工事費等の額が減額したため、大船渡市 D-1-8 まちづくり連携道路整備事業 (末崎～基石) へ 70,000 千円 (国費: H23 繰越予算 57,750 千円) を流用。これにより、交付対象事業費は 2,452,000 千円 (国費: 2,022,900 千円) から 2,382,000 千円 (国費: 1,965,150 千円) に減額。</p> <p>(事業間流用による経費の変更) (令和元年 10 月 7 日)</p> <p>事業完了により事業費が 18,918 千円 (国費: 15,606 千円) 減額したため、大船渡市 D-1-8 まちづくり連携道路整備事業 (末崎～基石) へ 8,888 千円 (国費: H23 繰越予算 7,332 千円)、陸前高田市 D-1-5 まちづくり連携道路整備事業 (久保～泊) へ 10,030 千円 (国費: H23 繰越予算 8,274 千円) を流用。これにより、交付対象事業費は 2,382,000 千円 (国費: 1,965,150 千円) から 2,363,082 千円 (国費: 1,949,544 千円) に減額。</p> <p>※当該事業を復興ビジョン、復興計画、復興プラン等に位置付けている場合は、該当箇所及び概要も記載してください</p>					
当面の事業概要					
<平成 28 年度>用地補償、工事等					

＜平成 29 年度＞工事等	
東日本大震災の被害との関係	
東日本大震災津波により被害を受けた野田地区において、野田村の復興まちづくりと一体となった道路整備を行うことにより、安全で安心な防災都市・地域づくりを推進する。 ※区域の被害状況も記載して下さい。	
関連する災害復旧事業の概要	
なし。	
※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。	
関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	

(様式1-4)

野田村 復興交付金事業計画 平成27年度 復興交付金事業等

省庁名: 国土交通省

令和元年12月時点

※本様式は同一の交付担当大臣が交付する事業等ごとに作成して下さい

(単位:千円)

No.	事業番号 (注1)	事業名 (注2)	地区名 施設名	交付 団体	事業 実施 主体	直接/間接	基本 国費率 (a) (注3)	当該年度(注4)			年度間調整額(注5) (該当する場合のみ記載)		備 考
								交付対象事業費 (b)	交付対象事業費のうち、特 定市町村又は特定都道府 県以外の者が負担する額を 減じた額 (c)	うち交付金交付額 基幹事業の場合 (d)=a×b+(c-a×b)/2 効果促進事業等の場合 (d)=0.8c	年度間 調整額 (国費) (e)	調整後の 交付金 交付額 (f)=d-e	
3	D - 1 - 2	道路事業	城内地区	村	村	直接	2/3	(2,883) 0 <2,883>	(2,883) 0 <2,883>	(2,450) 0 <2,450>			
4	D - 1 - 3	道路事業	城内地区	村	村	直接	2/3	(7,290) 0 <7,290>	(7,290) 0 <7,290>	(6,196) 0 <6,196>			
5	D - 1 - 4	道路事業	泉沢地区	村	村	直接	2/3	(9,189) 0 <9,189>	(9,189) 0 <9,189>	(7,810) 0 <7,810>		平成26年度事業費より、国費率が13/20から7/10に変更 【他事業より流用】(平成27年11月1日) 流用先: D-1-1道路事業(城内・米田・南浜地区) 流用額: [H25]3,363千円(国費: 2,858千円) 流用後交付対象事業費: 12,552千円(国費: 10,668千円) 【他事業より流用】(平成28年5月17日) 流用先: D-1-1道路事業(城内・米田・南浜地区) 流用額: [H25]1,546千円(国費: 1,314千円) 流用後交付対象事業費: 14,098千円(国費: 11,982千円) 【他事業より流用】(平成28年10月1日) 流用先: D-1-1道路事業(城内・米田・南浜地区) 流用額: [H25]845千円(国費: 718千円) 流用後交付対象事業費: 14,943千円(国費: 12,700千円) 【他事業へ流用】(平成31年1月1日) 流用先: D-5-3災害公営住宅家賃低廉化事業【補助率変更分】(野田・玉川地区) 流用額: [H27]170千円(国費: 144千円) 流用後交付対象事業費: 14,773千円(国費: 12,556千円)	
6	D - 1 - 5	道路事業	南浜地区	村	村	直接	2/3	(122,656) 0 <122,656>	(122,656) 0 <122,656>	(104,257) 0 <104,257>		平成26年度事業費より、国費率が13/20から7/10に変更 【他事業より流用】(平成28年10月1日) 流用先: D-1-1道路事業(城内・米田・南浜地区) 流用額: [H25]22,121千円(国費: 18,802千円) 流用後交付対象事業費: 144,777千円(国費: 123,059千円)	
32	D - 1 - 8	まちづくり連携道路整備事業	(野田村) (主)野田山形 線 野田	県	県	直接	2/3	(150,000) 0 <150,000>	(150,000) 0 <150,000>	(123,750) 0 <123,750>		【他事業へ流用】(平成31年1月1日) 流用先: 大船渡市D-1-8 まちづくり連携道路整備事業(末崎～碓石) 流用額: [H28]70,000千円(国費: 57,750千円) 流用後交付対象事業費: 2,382,000千円(国費: 1,965,150千円) 【他事業へ流用】(令和元年10月1日) 流用先: 大船渡市D-1-8 まちづくり連携道路整備事業(末崎～碓石) 流用額: [H27]38,888千円(国費: 7,332千円) 流用先: 陸前高田市D-1-5 まちづくり連携道路整備事業(久保～泊) 流用額: [H27]10,000千円(国費: 8,274千円) 流用後交付対象事業費: 2,363,082千円(国費: 1,949,544千円)	
36	★ F - 2 - 1 - 1	市街地復興効果促進事業	野田村	村	村	直接	4/5	(525,614) 0 <525,614>	(525,614) 0 <525,614>	(420,489) 0 <420,489>		【他事業へ流用】(平成31年1月1日) 流用先: D-5-2災害公営住宅家賃低廉化事業(野田・玉川地区) 流用額: [H27]48,138千円(国費: 38,510千円) 流用後交付対象事業費: 477,476千円(国費: 381,979千円)	
42	D - 1 - 11	道路事業	城内地区	村	村	直接	2/3	(127,752) 0 <127,752>	(127,752) 0 <127,752>	(108,589) 0 <108,589>		【他事業へ流用】(平成30年1月17日) 流用先: D-5-2災害公営住宅家賃低廉化事業(野田・玉川地区) 流用額: [H27]85,063千円(国費: 72,303千円) 流用後交付対象事業費: 42,689千円(国費: 36,286千円)	
44	D - 5 - 2	災害公営住宅家賃低廉化事業	野田・玉川地区	村	村	直接	3/4	(45,837) 0 <45,837>	(45,837) 0 <45,837>	(40,107) 0 <40,107>			
45	D - 6 - 2	東日本大震災特別家賃低減事業	野田・玉川地区	村	村	直接	1/2	(9,215) 0 <9,215>	(9,215) 0 <9,215>	(6,911) 0 <6,911>			
46	D - 17 - 2	被災市街地復興土地区画整理事業	城内地区	村	村	直接	1/2	(245,856) 0 <245,856>	(245,856) 0 <245,856>	(184,392) 0 <184,392>		【他事業へ流用】(平成31年1月1日) 流用先: D-5-2災害公営住宅家賃低廉化事業(野田・玉川地区) 流用額: [H27]23,880千円(国費: 17,910千円) 流用先: D-6-2東日本大震災特別家賃低減事業(野田・玉川地区) 流用額: [H27]9,382千円(国費: 7,036千円) 流用先: D-5-3災害公営住宅家賃低廉化事業【補助率変更分】(野田・玉川地区) 流用額: [H27]10,650千円(国費: 7,987千円) 流用後交付対象事業費: 201,944千円(国費: 151,459千円)	
55	D - 22 - 4	都市公園(津波防災緑地)施設整備事業	城内・泉沢・米田・南浜地区	村	村	直接	1/2	(130,697) 0 <130,697>	(130,697) 0 <130,697>	(98,022) 0 <98,022>			

合計額	(1,376,989) 0 <1,376,989>	(1,376,989) 0 <1,376,989>	(1,102,973) 0 <1,102,973>	(0) 0 <0>	(0) 0 <0>
-----	---------------------------------	---------------------------------	---------------------------------	-----------------	-----------------

都道県名	岩手県	担当部局名	総務課財政班	担当者氏名	中川 大志
市町村名	野田村	電話番号	0194-78-2111	メールアドレス	h-nakagawa@vill.noda.lg.jp

(注1)「事業番号」は、基幹事業については、「(制度要綱別表の番号)-(同一事業計画中の同種の事業の通し番号)」、効果促進事業等については、「◆(最も関連する基幹事業の事業番号)-(最も関連する基幹事業ごとの通し番号)」となるよう記載する。

(注2)「事業名」は実施する事業の内容がわかるように任意の名称を記載する。

(注3)「基本国費率」は、各交付担当大臣が定める交付要綱に規定される国費率を指す。(制度要綱第2の1の(3)におけるbと同様)

(注4)基金を造成して復興交付金事業等を実施する場合、(b)欄には、当該年度に実施する事業の事業費を、(c)欄には事業費のうち特定市町村又は特定都道府県以外の者が負担する額を減じた額を、(d)欄には基金からの取崩額を記載する。

(注5)「年度間調整額」の(国費)(e)は、前年度に制度要綱第1の7の④に該当した場合に記載する。

(注6)上段()書きは、前回までに配分された額を記載し、中段には今回申請する額を記載する。なお、下段< >書きについては、自動計算される。

(様式1-4)

野田村 復興交付金事業計画 平成29年度 復興交付金事業等

省庁名: 国土交通省

令和元年12月時点

※本様式は同一の交付担当大臣が交付する事業等ごとに作成して下さい

(単位:千円)

No.	事業番号 (注1)	事業名 (注2)	地区名 施設名	交付 団体	事業 実施 主体	直接/間接	基本 国費率 (a) (注3)	当該年度(注4)			年度間調整額(注5) (該当する場合のみ記載)		備 考
								交付対象事業費 (b)	交付対象事業費のうち、特 定市町村又は特定都道府 県以外の者が負担する額を 減じた額 (c)	うち交付金交付額 基幹事業の場合 (d)=a×b+(c-a×b)/2 効果促進事業等の場合 (d)=0.8c	年度間 調整額 (国費) (e)	調整後の 交付金 交付額 (f)=d-e	
19	D - 1 - 6	まちづくり連携道路整備事業	(野田村) (一)安家玉川 線 下安家	県	県	直接	2/3	(57,744)	57,744	(47,638)			【他事業より流用】(平成28年1月19日) 流用元:◆D-1-5-1 まちづくり連携道路調査事業(道路) 流用額:(H28)21,240千円(国費:17,523千円) 流用元:D-1-7 まちづくり連携道路整備事業((一)野田) 流用額:(H29)30,000千円(国費:24,750千円) 流用元:D-4-1 災害復興公営住宅等整備事業 流用額:(H29)3,982千円(国費:3,285千円) 流用元:◆D-4-1-1 災害復興公営住宅駐車場整備事業 流用額:(H29)2,377千円(国費:1,901千円) 流用元:◆D-4-1-2 県営住宅525戸改修事業 流用額:(H29)970千円(国費:800千円) 流用元:D-5-1 災害公営住宅家賃低廉化事業 流用額:(H29)3,197千円(国費:2,638千円) 流用元:D-6-1 東日本大震災特別家賃低減事業 流用額:(H29)490千円(国費:405千円) 流用後交付対象事業費:2,300,000千円(国費:1,897,500千円) 【他事業へ流用】(平成31年1月1日) 流用元:大船渡市D-1-5 まちづくり連携道路整備事業(東崎～基石) 流用額:(H29)55,182千円(国費:45,525千円) 流用後交付対象事業費:2,244,818千円(国費:1,851,975千円) 【他事業へ流用】(令和元年10月1日) 流用元:熊谷市D-1-5 まちづくり連携道路整備事業(久保～池) 流用額:(H29)18,473千円(国費:15,240千円) 流用後交付対象事業費:2,226,345千円(国費:1,836,735千円)
合計額								(57,744)	(57,744)	(47,638)	(0)	(0)	
								<57,744>	<57,744>	<47,638>	<0>	<0>	

都道県名	岩手県	担当部局名	総務課財政班	担当者氏名	中川 大志
市町村名	野田村	電話番号	0194-78-2111	メールアドレス	h-nakazawa@vill.noda.lg.jp

(注1)「事業番号」は、基幹事業については、「(制度要綱表の番号)-(同一事業計画中の同種の事業の通し番号)」、効果促進事業等については、「◆(最も関連する基幹事業の事業番号)-(最も関連する基幹事業ごとの通し番号)」となるよう記載する。

(注2)「事業名」は実施する事業の内容がわかるように任意の名称を記載する。

(注3)「基本国費率」は、各交付担当大臣が定める交付要綱に規定される国費率を指す。(制度要綱第2の1の(3)におけるbと同様)

(注4)基金を造成して復興交付金事業等を実施する場合、(b)欄には、当該年度に実施する事業の事業費を、(c)欄には事業費のうち特定市町村又は特定都道府県以外の者が負担する額を減じた額を、(d)欄には基金からの取崩額を記載する。

(注5)「年度間調整額」の(国費)(e)は、前年度に制度要綱第1の7の④に該当した場合に記載する。

(注6)上段()書きは、前回までに配分された額を記載し、中段には今回申請する額を記載する。なお、下段 < >書きについては、自動計算される。